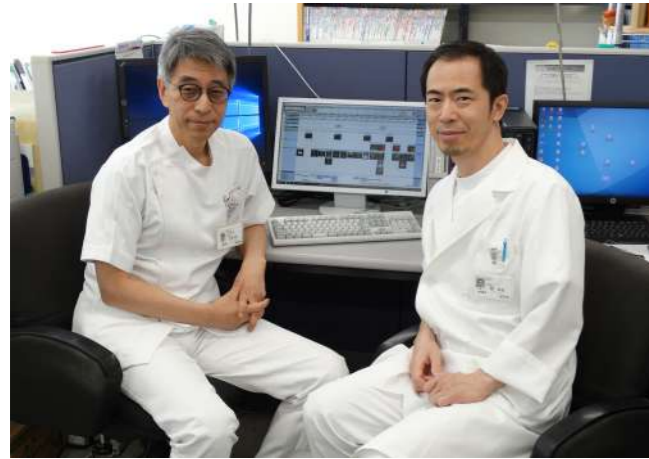


診療録のペーパーレス化と画像系統合システムの強化により  
ワークフローの見直し、業務効率が格段に向上



病院長 原栄志先生(右)と副院長 千葉隆一先生

システムの統一による価格優位性が決め手に

電子カルテの更新だけでも、病院にかかってくる費用の負担はとて大きなものとなってきます。そこで同じ仕様書で複数社に提案を依頼し、価格も提出していただきましたところ、放射線部門、生理検査部門の各 RIS を統一させたほうが安価になることがわかりました。オープンデモ形式のデモンストレーションにて、医師をはじめとした各職種の職員が、複数社のシステムの説明を受けましたが、「STELLAR」が一番見やすく、自分たちが業務改善していきたい課題が解決できるのではないかと感想が多くありました。

また「Sophia Report」の活用により、チーム医療の業務としても利用できることがわかり、従来と比べて圧倒的な経費削減が可能となるところが決め手となりました。

導入効果

スキャナーによる診療録のペーパーレス化

電子カルテと紙カルテを併用していたときには、同意書等の文書や超音波の画像などを紙カルテに保存しており、患者の来院に合わせて、それを取り出す、運ぶ、回収するという作業負担が大きかったのですが、「STELLAR」を導入することにより、紙の文書はスキャンして、タイムスタンプを付加して電子化するフローとなりました。超音波画像も「STELLAR」に保存されることにより、診療側でもすばやく参照することができるようになりました。このような作業負担が無くなることにより、人員配置やワークフローを大きく見直すことができるようになりました。

また褥瘡回診やフットケア外来にて患部の状態を iPad で撮影し、すぐに送信することにより、診療記録として「STELLAR」に保存されていく点がとてもスマートであり、業務効率化が進んだと思います。心電図のシステムとも連携しており、画面にて波形が確認できることに対して、医師からは好評を得ています。



導入に携わったスタッフの皆さん

導入システム

- DICOM 画像管理システム Nazca
- RIS システム Nazca RIS
- 診療情報統合システム STELLAR
- ドキュメント作成&管理システム Sophia Report

導入経緯

電子カルテ更新と共に  
画像系統合システムの強化

当院は、2011年2月に電子カルテの運用を開始しましたが、紙カルテも併用しておりました。2016年に電子カルテ側の機能では不満という声が上がっており、診療を支援することができるシステムを探しておりました折に、国際モダンホスピタルショウにて「STELLAR」と出会いました。画像から検査結果レポートまでをすべて時系列で表示している画面にただただ驚愕し、次期システム更新時の有力な候補として強く意識しておりました。

2016年10月には先行して内視鏡部門システム更新の検討を行い、複数社の提案の中から、アストロステージ社を選定し、運用を開始しました。

その後2017年3月に電子カルテ更新の検討ワーキンググループにおいて、診療録のペーパーレス化と画像系統合システムの強化を念頭に検討を開始しました。そして機能の確認・導入ユーザ施設の見学で、上都賀総合病院様にお伺いし、アドバイスもいただきました。さらに次のフェーズとして提案書を提出いただき、複数社競合の中で、当院の要望にいちばんマッチしたアストロステージ社を採用することになりました。



飯田病院：システム導入時期 / Aug 2018



飯田病院は明治36年(1903)の開業以来、「医は仁術である」という理念の元に暮らる、しに密着したきめ細やかな医療の実践を目指してまいりました。平成14年(2002)開業100周年の大きな節目に合わせて病院の増改築事業を行い、地域の中核病院として、新しい時代に相応しい機能と設備を備えた病院に生まれ変わりました。

我々は新しい病院を携え、初心を大事に「医は仁術」を胸におき、今まで以上に地域に根差したきめ細やかな医療の実践を心がけております。今後も医療の未来を見つめながら地域の皆様に親しまれ信頼される身近で高度な医療を提供する病院を目指してまいります。

所在地：長野県飯田市大通1-15  
病床数：447床  
診療科：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・神経内科・外科・小児外科・整形外科・精神科・アレルギー科・泌尿器科・婦人科(検診のみ)・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・臨床検査科・麻酔科  
専門外来等：人工透析・人間ドック・精神科デイケア・重度認知症患者デイケア・糖尿病外来・ペースメーカー外来  
人工肛門外来・外来化学療法・補聴器外来・病理外来・人工関節リハビリテーションセンター・フットケア外来・もの忘れ外来・ふるえふらつき外来・認知症疾患医療センター・免疫治療外来

今後の方針

電子カルテとの連携部分では、レスポンス向上などの課題があります。当地区では、アストロステージ社の導入施設がまだ少ないですが、SEが定期的に訪問していただけるような体制づくりを望んでおります。営業の方からは、長野県をカバーする体制を構想していきたいとお話を伺っておりますので、早期実現に向けて体制を整えていただけることを要望いたします。

今後の期待・要望

今後の展望についてですが、院内の様々なレポートを「Sophia Report」で作成したいという声が上がってくるようになりました。それに向けて病院側でもレポートのフォーム作成ができるようになりたいと考えております。また PACS については、他社システムを利用しておりますが、数年後には更新を控えております。そこにおいても、医師、看護師、技師が納得できるものを提案していただきたいと思います。

システム構成図

